

本校教員の研究活動の記録（抄）

分類

A	著書刊行物(翻訳、分担執筆含む)
B	学協会誌等への発表論文(学協会等が催したまたは認めた国内外の研究会、研修会、講演会等で発表を行い、そのプロシーディングス、会議録、講演集等が発行され、会議名、巻、号、ページ等がはっきりし、引用文献とすることができるものを含む。)
C	学協会等における口頭発表(上記の引用文献とすることができないもの)
D	その他、上のA, B, Cに属さないもの
E	特許関連

西田 友久

- B 超音波疲労試験機を用いた長寿命フレット疲労特性(試験片の設計および製作)望月爽馬、島村佳伸と共著、日本高専学会第22回年会講演会、CDROM、2016年8月
- B オートバイ用リアアームを想定したアルミニウム合金のフレット疲労強度改善のための表面処理に関する検討(水谷淳之介、武藤睦治、松田伸也、川邑正広、二村優と共著)、材料、Vol.64、No.11、pp.872-879、2015年11月
- B フレット疲労き裂のその場観察(望月爽馬、水谷淳之介、武藤睦治と共著)、日本機械学会2015年度年次大会、CDROM、2015年9月
- C 平成28年度高専一長岡技科大(機械創造工学専攻)教員交流研究集会「高専と長岡技科大の明日への共生」、2016年8月
- C オートバイ用アルミニウム合金のフレット疲労強度に及ぼすバニシング加工の影響、(株)スギノマシン、2016年6月
- C Design of Fretting Fatigue Specimen Mountable to SEM SERVOPULSER for Ultrasonic Fatigue Testing Machine. (Souma Mochizuki, Reo Kasahara, Yoshinobu Shimamura, Keiichiro Tohgo, Tomoyuki Fujii と共著)、2016年1月
- C アルミニウム合金のフレット強度に及ぼすDLCコーティングの影響(水谷と共著)、トーカロ(株)、2016年3月
- C 耐フレットのためのDLC被膜のパラメータ設計(水谷と共著)、トーカロ(株)、2016年3月
- D 日本材料学会「疲労部門委員会」委員として参加、平成10年4月から継続
- D 日本材料学会「超高サイクル疲労研究分科会」委員として参加、平成22年10月から継続

小林 隆志

- A ねじ締結体の設計法、(日本ねじ研究協会 ねじ締結体設計委員会19名と共著)、2016年5月。

- B Reduction of Fugitive Emissions from Bolted Flanged Connections by Using PTFE Blended Gasket, (佐藤, 村松(日本バルカー工業), 沢(広島大学名誉教授)と共著), Proc. ASME PVP 2016 Conference, PVP2016-63547, 2016 年 7 月.
- B FEM Stress Analysis of Long-Term Sealing Performance for Bolted Pipe Flange Connections with PTFE Blended Gaskets Under Elevated Temperature, (佐藤(日本バルカー工業), 沢(広島大学名誉教授)と共著), Proc. ASME PVP 2016 Conference, PVP2016-63372, 2016 年 7 月.
- B 過酷環境下におけるガスケット付きフランジ締結体の密封特性に関する研究(温度と振動外力の影響), (善養寺(専攻科)と共著), ボイラ研究, 第 394 号, pp.10-15, 2015 年 12 月.
- B 高温下で動的曲げモーメントを受ける配管系フランジ締結体の密封特性に関する研究, (善養寺(専攻科)と共著), 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015, 2015 年 11 月.
- B 三次元座標測定機による閉止フランジ締結体の変形測定, (土橋(研究生), 佐々木(技術室)と共著), 日本機械学会 山梨講演会 2015 講演論文集, No.150-3, 504, 2015 年 10 月.
- B 蒸気ラインにおけるフランジ締結体のボルト軸力変化, (小高, 糸井(ニチアス), 森本(三菱化学)と共著), 日本機械学会 山梨講演会 2015 講演論文集, No.150-3, 508, 2015 年 10 月.
- B 静的曲げモーメントを受ける配管フランジ締結体の密封特性, (古田(専攻科)と共著), 日本機械学会 山梨講演会 2015 講演論文集, No.150-3, 554, 2015 年 10 月.
- B 振動と熱の作用を受ける配管フランジ締結体の密封特性, (善養寺(専攻科)と共著), 日本機械学会 山梨講演会 2015 講演論文集, No.150-3, 555, 2015 年 10 月.
- D 日本機械学会 ISO/TC5/SC10 国内対策委員会(金属管フランジ及びその接合)委員, 1997 年 4 月から継続, 2017 年 3 月まで.
- D 日本高圧力技術協会 圧力設備のシーリング技術専門研究委員会委員, 2001 年 5 月から継続.
- D ねじ研究協会 研究委員会委員, 2011 年 11 月から継続.
- D 静岡県東部精密技術研究会 会長, 2014 年 4 月から 2017 年 3 月まで.
- D 日本機械学会 山梨講演会 2015「フランジガスケット締結体の力学と密封性能評価」のオーガナイザ及び座長を務める, 2015 年 10 月.
- D ASME PVP 2016 Conference (カナダ, バンクーバー)のセッション” Design and Analysis of Bolted Flange Joints”のセッションデベロッパーを務める, 2016 年 7 月.
- D 文部科学省, 科研費基盤研究(C)「TMA インデンテーション試験に基づく粒子分散強化高分子材料の材料設計最適化」(辻(東京電機大)), 研究分担者, 2015 年~2017 年.

村松久巳

- B 沼津工業高等専門学校 村松・前田研究室(村松久巳, 前田篤志), フルードパワーシステム, 第 47 巻第 4 号, pp.43-45, (2016)
- B 音質評価を用いた空気圧機器の流量特性の試験法, 日本フルードパワーシステム春季講演論文集(村松久巳, 天野勝太, 前田篤志, 尹鐘皓, 香川利春), pp.55-57, (2016)
- B 空気圧用消音器の流量特性試験(村松久巳, 鈴木洋行), 日本高専学会第 22 回年会講演会講演論文集, DVD, pp.73-74, (2016)
- D 日本フルードパワーシステム学会, 理事

- D 日本フルードパワーシステム学会, 編集委員会 副委員長
- D 日本フルードパワーシステム学会, 論文集委員会 委員
- D 日本フルードパワーシステム学会, フルードパワーシステムにおける流体现象研究委員会
- D 日本高専学会第 22 回年会講演会 地域連携セッションの座長

三谷祐一朗

- B Educational Training Program for the Manufacturing Control System Using the New Type of Programming Logic Controller SysmacNJ, (谷埜, 上, 小島, 佐藤, 岩野と共著), ISATE2015, (2015.9), pp.512-515
- B 次世代 PLC の新たな活用方法を学習するための可搬性を有する倒立振子制御装置の開発, (佐藤, 谷埜と共著), 日本設計工学会, (2015.12), 50 巻 12 号, pp.662-667
- B 中学生を対象とする PLC を活用した体験授業, (谷埜と共著), 沼津工業高等専門学校研究報告(第 50 号), (2016.3), pp.1-6
- B PLC 機器を用いた磁気浮上制御の教材開発ー機械・電気系の時間応答に着目した制御設計ー, (小林, 奥村, 中村と共著), ロボティクス・メカトロニクス講演会 2016, (2016.6), CD-ROM
- B 企業と連携したシーケンス制御教育(西と共著), 第 22 回日本高専学会年会, (2016.8), CD-ROM
- B 超小型モビリティの安定性向上のための制御手法の検討(中澤, 佐藤と共著), 第 22 回日本高専学会年会, (2016.8), CD-ROM
- B 小型磁気浮上装置における動特性の検証と活用方法の検討(森川と共著), 第 22 回日本高専学会年会, (2016.8), CD-ROM
- C オムロン・高専機構共同教育プロジェクト ～生産技術コンテスト～(上, 佐藤, 下尾, 小林, 西と共同), 平成 28 年度全国高専フォーラム, (2016.8)
- C オムロン株式会社との実践的技術者育成事業「制御技術教育キャンプ～日韓合同インターンシップ～」の実践報告(上, 佐藤, 下尾, 佐竹, 岸, 西, 山之内と共同), 平成 28 年度全国高専フォーラム, (2016.8)
- C 新世代 PLC による統合制御を用いた高齢者向け超小型モビリティに関する研究(佐藤, 伊藤, 大泉, 熊谷, 小熊と共同), 平成 28 年度全国高専フォーラム, (2016.8)
- C 新世代 PLC による統合制御を用いた高齢者向け超小型モビリティに関する研究(佐藤, 伊藤, 大泉, 熊谷, 小熊と共同), 平成 28 年度全国高専フォーラム, ポスター発表, (2016.8)
- D 中学生のための体験授業「生産システムに用いられる制御技術を体験しよう」, 沼津高専, 2015 年 10 月 10 日
- D ミニ体験授業「生産現場で働くコンピュータによる制御体験」, 沼津高専, 2015 年 10 月 31 日～11 月 1 日
- D オムロン・高専機構共同教育プロジェクト平成 27 年度生産技術コンテスト運営委員, オムロン株式会社東京事業所, 2015 年 12 月 26 日
- D 平成 27 年度後期オムロン株式会社「制御技術 세미나」実践コース(倒立振子制御)講師, オムロン株式会社東京事業所, 2016 年 3 月 24 日～25 日
- D 独立行政法人日本学術振興会, 平成 28 年度科研費基盤研究 C「複数高専と民間企業の連携

によるロボットを活用した生産システム制御技術者の育成」研究代表者

- D 独立行政法人国立高専機構, 平成 27 年度研究プロジェクト経費「新世代 PLC による統合制御を用いた高齢者向け超小型モビリティに関する研究」研究分担者
- D 公開講座「PLC を用いたサーボ制御 ～シーケンス制御の基礎から2軸位置決めまで～」講師, 2016 年 7 月 2 日～3 日
- D オムロン・高専機構共同教育プロジェクト平成 28 年度制御技術教育キャンプ～日韓合同インターンシップ～運営委員, オムロン株式会社草津事業所, 2016 年 7 月 25 日～8 月 2 日
- D オムロン・高専機構共同教育プロジェクト平成 28 年度生産技術コンテスト運営委員, オムロン株式会社東京事業所, 2016 年 8 月 22 日～23 日
- D 日本機械学会東海支部第 65 期商議員(平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

山中 仁

- B [No.15-124]講習会教材「一実例・触って学ぶ機械設計— 機械設計技術者のための機構学と摩擦の取り扱い」, (南後(山形大), 樋口(日本工大), 大岩(静岡大), 武田(東工大), 早瀬(東京大)と共著), 日本機械学会, (2015 年 11 月)
- B 導通検出を用いた非円形歯車対の挙動観察, (平田朋樹と共著), 日本高専学会第 22 回日本高専学会年会講演会論文集, pp77-78, 沼津高専(沼津市), 2016 年 8 月 27 日
- C [No.15-124]講習会「一実例・触って学ぶ機械設計— 機械設計技術者のための機構学と摩擦の取り扱い」, 日本機械学会機素潤滑設計部門, 東京工業大学大岡山キャンパス石川台 3 号館(東京), 2015 年 11 月 17 日
- D 機械工学科ミニ体験授業「3D-CAD 設計入門」, 沼津高専(沼津市), 2015 年 10 月 31 日, 11 月 1 日
- D 日本機械学会 機素潤滑設計部門機械設計技術企画委員委員(2015 年度副委員長), 2010 年 4 月から継続
- D 日本 IFToMM 会議 実行委員会委員, 2010 年 11 月から継続

鈴木 尚人

- B Distinction between Manifestations of Diabetic Retinopathy and Dust Artifacts Using Three-Dimensional HSV Color Space, (Naoto Suzuki), International Journal of Medical, Health, Biomedical, Bioengineering and Pharmaceutical Engineering, Vol.10, No.3, (2016.8), pp153-159.
- B 四大失明原因疾患診断システムにおける動的眼球運動計測の基礎的研究, (田中椋祐と共著), 日本高専学会第 22 回年会講演論文集, (2016 年 8 月), pp71-72.
- C Automatic method to distinguish manifestation areas of early diabetic retinopathy from image artefacts by using L*u*v* colour space, (N.Suzuki, K.Yamane), European Association for Vision and Eye Research 2015, France, (2015.10)
- C Research on ophthalmic examination apparatus to diagnose multiple diseases which result in loss of eyesight, (N.Suzuki, K.Yamane), European Association for Vision and Eye Research 2015, France, (2015.10)

D 富士山麓医用機器開発エンジニア養成プログラム(F-met)特別課程運営委員会委員, 2014年4月から

松田 伸也

- B Fracture characteristics of silicon nitride ceramic ball subjected to thermal shock, *Journal of Materials Science*, Vol.51, No.11, pp.5502-5513 (2016.3).
- B CFRP のせん断切断加工および穿孔加工について(黄木, 矢代と共著), *強化プラスチック*, Vol.62, No.3, pp.84-87 (2016.3).
- B 熱硬化性 CFRP 積層板のパンチプレス加工による穿孔の特徴と加工品質(黄木, 矢代と共著), *日本複合材料学会誌*, 第 42 巻, 第 1 号, pp.13-22 (2016.1).
- B 手巻きウインチを題材とした設計製作教育の実践(中川と共著), *工学教育*, Vol.63, No.6, pp.93-98 (2015.11).
- B オートバイ用リアアームを想定したアルミニウム合金のフレッティング疲労強度改善のための表面処理に関する検討(西田, 水谷, 武藤, 川邑, 二村と共著), *材料*, Vol.64, No.11, pp.872-879 (2015.11).
- B セラミック軸受球の熱衝撃破壊メカニズム, 構造物の安全性と信頼性 JCOSSAR2015 論文集(A論文), Vol.8, pp.408-413 (2015.9).
- B 設計製作教育における失敗体験効果(中川と共著), 日本高専学会第 22 回日本高専学会年会講演会講演論文集, pp.35-36, 沼津高専(沼津市), 2016年8月27日.
- B デジタル画像相関法による CFRP 積層板のパンチ加工損傷評価の試み(鍋倉, 小林と共著), 日本高専学会第 22 回日本高専学会年会講演会講演論文集, pp.69-70, 沼津高専(沼津市), 2016年8月27日.
- B 設計製作教育における失敗データベースの活用(中川と共著), 日本高専学会第 22 回日本高専学会年会講演会講演論文集, pp.39-40, 沼津高専(沼津市), 2016年8月27日.
- B パンチプレス穿孔加工を施した CFRP 積層板の圧縮強度試験(村松, 矢代, 黄木と共著), 日本材料学会東海支部第 10 回学術講演会講演論文集, pp.81-82, 岐阜大学サテライトキャンパス(岐阜市), 2016年3月9日.
- B CFRP 積層板の低速衝撃パンチ加工, 日本機械学会 2015 年度年次大会 DVD 論文集(渡邊, 矢代, 黄木と共著), 北海道大学(札幌市), 2015年9月14日.
- D 科学研究費補助金, 若手研究(B)「熱衝撃を受けたセラミック軸受球の巨視的割れおよび接触損傷に対する信頼性評価」(課題番号: 26820015), 研究代表者.
- D 日本材料学会疲労部門委員会委員, 2010年4月から継続
- D 日本材料学会信頼性工学部門委員会委員, 2010年4月から継続.
- D 日本材料学会信頼性工学部門委員会中部地区常任幹事, 2016年8月10日から継続.

前田 篤志

- B Onset of exchange flow in combined buoyancy and forced pipe flow in unstable density gradient (A. Maeda, T. Yamagata and N. Fujisawa), *International Communications in Heat and Mass Transfer*, Vol.70, (2016), pp.9-14.

- B 沼津工業高等専門学校 村松・前田研究室(村松久巳, 前田篤志), フルードパワーシステム, 第 47 巻第 4 号, (2016), pp.43-45
- B 音質評価を用いた空気圧機器の流量特性の試験法, 日本フルードパワーシステム春季講演論文集(村松久巳, 天野勝太, 前田篤志, 尹 鐘皓, 香川利春), (2016), pp.55-57
- B 浮力噴流におけるノズル内部への特異流入現象に関する研究(駒谷拓己, 前田篤志, 佐野二斗, 友岡海斗), 日本高専学会第 22 回年会講演会論文集, DVD, (2016), pp.91-92
- D 流体の可視化計測 -PIV(粒子画像流速測定法)-, 静岡県東部テクノフォーラム in 沼津高専(沼津市), 平成 27 年 12 月 3 日

○電気電子工学科

佐藤 憲史

- B 小型ヘリカルコイルを用いたワイヤレス給電(金原大と共著), 沼津工業高等専門学校研究報告, 第 50 号(2016), pp. 7-12.
- D 函南・宇宙の学校「リニアモーターの原理を学ぼう・リニアモーターを作ろう」, 函南町文化センター(函南市), 2016 年 6 月 19 日.
- D 電子情報通信学会論文査読委員, 2002 年 5 月から.

高野 明夫

- B 昇圧チョッパを併用したVFMインバータの開発(清水と共著), 日本高専学会第 22 回年会・講演会 CDROM, pp.125-126, 沼津高専(2016.8.27)
- B 多重インバータのVFM制御(山竹, 井上, 土井, 渡邊と共著), 日本高専学会第 22 回年会・講演会 CDROM, pp.135-136, 沼津高専(2016.8.27)
- B 電力変換回路へのベクトル周波数変調法の適用(単著), 第 22 回電気学会東京支部山梨・沼津支所研究発表会予稿集, pp.15-20, 山梨大学(2015.11.17)
- B IPMSM の位置センサレス制御のための効率評価に基づく重畳信号周波数の最適化(斎藤, 大沼, 馬飼野, 道木と共著), 平成 27 年電気学会産業応用部門大会, 3-67, III-pp.331-334, 大分大学(2015.9.4)
- D 電気学会東京支部沼津支所委員, 平成 14 年度から継続。
- D 昇圧チョッパを併用したVFMインバータ(清水), 平成 28 年度電気学会東京支部カンファレンス学生研究発表会, 7-12, p.21 を指導する。慶応義塾大学日吉地区(2016.8.29)
- D 日本高専学会第 22 回年会・講演会において C3 セッション「教育方法と評価」の座長を務める。沼津高専(2016.8.28)

望月 孔二

- B 触媒燃焼式センサによるガス種識別のための回路の検討, 沼津工業高等専門学校研究報告, 第 50 巻(2016.3), pp.13-16
- B コンテスト方式の電子回路設計・製作授業を通じた学生の成長, 日本高専学会第 22 回年会講演会 CDROM C3-2, pp.55-56, 沼津高専(2016.8.27)

- D エレクトロニクス基礎講座～回路に経験の無い企業エンジニアの方に基礎的な電子回路のスキルを～ファーストステップコース, 沼津工業高等専門学校公開講座(沼津市), 平成 27 年 9 月 3 日から毎週 100 分全8回.
- D エレクトロニクス基礎講座～回路に経験の無い企業エンジニアの方に基礎的な電子回路のスキルを～ステップアップコース, 沼津工業高等専門学校公開講座(沼津市), 平成 27 年 11 月 5 日から毎週 90 分全6回.
- D 自作のセンサ回路で音の性質を究めよう, 中学生のための体験授業, 沼津工業高等専門学校(沼津市), 平成 27 年 10 月 10 日.
- D ペーパーブリッジ, 中学校のためのキャリアレクチャー, 第四中学校(沼津市), 平成 27 年 11 月 12 日.
- D 電子オルガン 555～電子回路を作り, センサの実験も行う～, 深良中学校(裾野市), 平成 28 年 7 月 14 日.

野毛 悟

- B 野毛 悟(多田と共著), “半導体基板を用いた高性能ヒータの作製と特性評価”, 第 21 回高専シンポジウム in 香川, 講演予稿集 H-06, (2016), (2016.1.23)
- B 野毛 悟(白鳥と共著), “非対称 MZI 型シリコン導波路を用いた Ce:YIG on Si の特性評価”, 第 21 回高専シンポジウム in 香川, 講演予稿集 H-07, (2016), (2016.1.23)
- B 野毛 悟(望月と共著), “規則性ナノ構造を有する多孔質薄膜形成法”, 第 21 回高専シンポジウム in 香川, 講演予稿集 H-08, (2016), (2016.1.23)
- B 野毛 悟(清藤, 武田, 中津原, 水本ら共著), “導波路型光アイソレータのための Ce:YIG 装荷 Si 導波路形成技術の基礎検討”, 第3回集積光デバイスと応用技術研究会, IPDA15-12～23, P13, p.47, (2016), (2016.03.3)
- B 野毛 悟(白鳥, 多田, 望月ら共著), “Si 系光集積回路に適用可能なコンタクトエピタキシャル法の検討”, 第3回集積光デバイスと応用技術研究会, IPDA15-12～23, P16, p.53, (2016), (2016.03.3)
- B 野毛 悟, “溶液成長法を用いた硫化スズ(SnS)形成技術の探索”, 電子情報通信学会技術研究報告: 信学技報 116(101), 33-37, (2016.06.17)
- D 出前授業:光の不思議を体験しよう, 裾野市立鈴木図書館(小中学生対象), 2015.8.6
- D 電子情報通信学会 TC49 周波数制御・選択デバイス専門委員会委員
- D 電子情報通信学会 電子部品・材料研究専門委員会委員長
- D 電気学会 EM回路デバイスの応用技術調査専門委員会委員

嶋 直樹

- B デルタ型 3D プリンタの機構を利用した 3 次元磁界分布測定システムの作製, (荻島規宏と共著), 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア2015予稿集, p.2(poster session A-2), (2015 年 11 月).

眞鍋 保彦

- B 模擬苗を用いた植物の生長検出(宇佐見, 前田, 川田と共著), 計算工学講演会論文集 Vol.21, 論文番号 E-10-2, (2016 年 6 月), pp.1-2.
- B 点群データによる育苗の生長検出の提案(前田, 福島, 佐藤, 宮地, 宇佐見, 川田と共著), 計算工学講演会論文集 Vol.21, 論文番号 E-10-3, (2016 年 6 月), pp.1-2.
- B PSE System for Automatic Selection of Seedlings in a Plant Factory(宇佐見, 前田, 川田と共著), 12th World Congress on Computational Mechanics (WCCM XII) & 6th Asia-Pacific Congress on Computational Mechanics (APCOM VI), p.397, (2016 年 7 月).
- B 画像処理を用いた優良生長苗の検出(宇佐見, 前田, 川田と共著), 問題解決環境ワークショップ 2016 論文集, pp.26-29, (2016 年 9 月).
- B 画像処理による植物の生長認識のためのオートスケーリング環境の提案(新井, 前田, 石崎と共著), 問題解決環境ワークショップ 2016 論文集, pp.8-9, (2016 年 9 月).
- C 植物工場における優良苗の検出について, 2016 年第 1 回 PSE 研究会, 東京都港区, (2016 年 6 月).

大澤 友克

- B Controlling magnetic domain wall positions with an external magnetic field and a low spin-polarized current in chamfered L-shaped ferromagnetic thin ribbons (S. Honda, D. Yamamoto, T. Ohsawa, T. Gushi, K. Ito, T. Suemasu) J. Phys. D: Appl. Phys. 49 (2016) 385002 (7pp)
- B パーマロイ2層薄膜における磁気渦の高周波共鳴
日本物理学会秋の分科会 関西大学(吹田) (2015.9.16)
(本多、土屋、家形、木村と共著)、日本物理学会講演概要集 70(2), 842
- B 厳密対角化法によるマンガン酸化物 CE 相の安定性 II、19aPS-71、日本物理学会秋の分科会 関西大学(吹田) (2015.9.19) 日本物理学会講演概要集 70(2), 2162

江間 敏

- A 最新電気鉄道工学(改訂版)中国語版, 電気鉄道における教育調査専門委員会, 中国鉄道出版社(2015 年9月)
- D リニアモーターカーの話し・模型製作, 函南・宇宙の学校, 佐藤・江間, 平成 28 年6月 19 日(函南町文化センター)

○電子制御工学科**牛丸 真司**

- B 小型自律移動ロボット開発を通じた巡回警備競技会の実践(青木、大林、小谷、鈴木と共著)、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 2016 in Yokohama、DVD-ROM、2P1-17a7、2016 年 6 月.
- C 求人情報の管理とシステム化(川上、室伏、伊東と連名)、日本高専学会第 22 回年会、沼津市、2016 年 8 月 27 日

川上 誠

- B 3D シミュレーション上における自律型レスキューロボットの開発(木村美咲, 尾関主馬と共著), 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015 予稿集(2015年12月), p.9 (poster session B-5)
- B 要救助者搬送制御機構を有したレスキューロボットの開発(田智貴, 野中大志と共著), 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015 予稿集(2015年12月), p.10 (poster session B-6)
- B ロボカップサッカーロボットのための自己位置推定プラットフォームの開発(山田知史, 古儀 和歩と共著), 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015 予稿集(2015年12月), p.11 (poster session B-7)
- B 求人情報の管理とシステム化(牛丸真司, 室伏一輝, 伊藤喬章と共著), 日本高専学会 第22回年会講演会 講演論文集(2016年8月), B1-2
- B ロボカップジュニアサッカー競技における教材開発(近藤有, 吉岡昂哲と共著), 日本高専学会 第22回年会講演会 講演論文集(2016年8月), P235 (poster session)
- B 単一の赤外線センサによる光源追従ロボットの開発(山田知史, 鈴木莉子と共著), 日本高専学会 第22回年会講演会 講演論文集(2016年8月), P236 (poster session)
- D 公開講座「パソコン組み立て教室」, 沼津高専(沼津市), 2016年7月6,13,20日
- D 公開講座「大人のためのロボット教室」, 沼津高専(沼津市), 2015年7月23,30日
- D 出前講座「電子工作教室」, ワークピア磐田(磐田市), 2016年8月3日
- D 出前講座「電子工作教室」, 門池地区センター(沼津市), 2016年8月9日
- D ロボカップジュニア静岡ブロック運営委員会 ブロック長(2014年4月～)
- D 北陸先端科学技術大学院大学 教育連携客員教授(2014年12月～)
- D 静岡県中学生創造ものづくり教育フェア ロボットコンテスト部門審査委員, 静岡科学館る・く・る(静岡市), 2015年11月21日

遠山 和之

- B High Field Dielectric Properties of Low Density Polyethylene with Rough Abrasive Surface Under AC Ramp Electric Field Application(Yurika Sano と共著), 2016 Annual Report Conference on Electrical Insulation and Dielectric Phenomena, 8B-17, pp.915-918, (2016年10月)
- B マイクロ発泡樹脂の交流損失電流波形と電界発光評価(小迫雅裕, 匹田政幸, 大矢真, 富澤 恵一と共著), 平成28年電気学会基礎・材料・共通部門大会, #6-A-p1-5, p.100, (2016)
- B フィルム表面の傷が低密度ポリエチレンの高電界誘電特性に及ぼす影響(佐野友里花と共著), 第47回電気電子絶縁材料シンポジウム, MVP-19, pp.216-219, (2016)
- D 静岡県バスケットボール協会 平成28年度ウインターカップ実行委員会委員
- D 一般社団法人 電気学会 EINAマガジン発行共同研究委員会委員, 2015年9月1日から2017年8月31日まで
- D 一般社団法人 電気学会 進化するテーラーメイドコンポジット絶縁材料に関する調査専門委員会委員, 2015年7月1日から2018年6月30日まで

- D IEEE/CEIDP (Conference on Electrical Insulation and Dielectric Phenomena) の TPC(Technical Program Committee)
- D 一般社団法人 電気学会 電気学会論文委員会A3グループ幹事, 2014 年 4 月 1 日から現在まで
- D JABEE 部会委員, 2014 年 4 月 2 日から現在まで
- D 一般社団法人 電気学会 JABEE 分野委員会委員, 2014 年 4 月 2 日から現在まで
- D 平成 28 年度東海工学教育協会高専部会幹事, 平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで
- D KOSEN 発“イノベティブ・ジャパン”プロジェクト 平成 28 年度事業推進委員会委員, 平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

鈴木 静男

- B Estimation of fine root biomass using a minirhizotron technique among three vegetation types in a cool-temperate brackish marsh, (Lee Chol Gyu, Suzuki Shizuo, Noguchi Kyotaro, Inubushi Kazuyuki), Soil Science and Plant Nutrition 62: 465-470, December 2016.
- B シカ及びイノシシはどこで頻繁に出没するのかー沼津市を例にしてー, (鍵山純一, 太田裕斗, 部谷和輝, 鈴木静男), 日本高専学会講演論文集 22:267-268, 2016 年 8 月.
- B 森林バイオマスエネルギーを持続的に活用するための 評価ー沼津市を例にしてー, (山田怜央, 伊藤凌, 鈴木静男), 日本高専学会講演論文集 22:269-270, 2016 年 8 月.
- B 小型自律移動ロボット開発を通じた巡回警備競技会の実践, (青木悠祐, 牛丸真司, 大林千尋, 小谷進, 鈴木静男), 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 2016 in Yokohama, DVD-ROM, 2P1-17a7, 2016 年 6 月
- B 森林の炭素動態モデル構築に向けてーリター及び土壌有機物分解サブモデルのパラメータ推定ー, (鈴木静男, 永井勝, 小嵐淳, 安藤麻里子, 横沢正幸, 原登志彦, 日浦勉, 渡邊博史, 波松香苗, 多胡靖宏, 中村裕二, 久松俊一), 富士学会 2015 年秋季学術大会要旨集, 10-11, 2015 年 10 月.
- C 千本浜のクロマツ林面積は数十年間にどのように変化したか, (加藤輝一, 勝又隆博, 鈴木静男), 第 7 回日本ジオパーク全国大会日本ジオパーク伊豆半島大会小中高生ポスターセッション, 2016 年 10 月.
- C どのような植生や土地利用形態でシカやイノシシは出没するのかー沼津市における予備的調査ー, (鍵山純一, 太田裕斗, 部谷和輝, 鈴木静男), 第 7 回日本ジオパーク全国大会日本ジオパーク伊豆半島大会小中高生ポスターセッション, 2016 年 10 月.
- C 森林バイオマスエネルギーの持続的活用にむけて, (山田怜央, 伊藤凌, 鈴木静男), 第 7 回日本ジオパーク全国大会日本ジオパーク伊豆半島大会小中高生ポスターセッション, 2016 年 10 月.
- C 竹林はどれだけ拡大しているのか?, (勝又隆博, 鈴木静男), 第 7 回日本ジオパーク全国大会日本ジオパーク伊豆半島大会小中高生ポスターセッション, 2016 年 10 月.
- D 環境省「環境教育における「ESD 推進」のための実践拠点支援事業」長泉町ニコニコ水力1号

- 見学会&アイデア出しワークショップ, (沼津高専学生 11 名とともに参加), 2016 年 10 月 19 日
- D 生態工学会 編集委員会 編集委員, 2011 年 6 月から継続.
- D 富士学会 評議員, 2015 年 4 月から継続.

大庭 勝久

- B FPGA を用いた抵抗線温度計用の周波数補償系の構築, (戸本と共著), 日本機械学会論文
集, Vol.82, No.833(2016), DOI : 10.1299/transjsme.15-00462.
- B 地域廃棄物の資源化システムの構築～製菓工場廃シロップを利用したバイオエタノール生産
～, (小倉, 戎, 竹口と共著), 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2016 予稿集, p.84,
2015 年 11 月.
- B 地域廃棄物の資源化システムの構築～蒸留塔自動制御システムの開発～, (戎, 小倉, 竹口と
共著), 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2016 予稿集, p.85, 2015 年 11 月.
- B 低学年における主体的な学びを促す課題解決型学習～全 2 年生・全教員・学科の枠を越えた
「ミニ研究」の紹介～, (嶋, 松澤と共著), 平成 27 年度東海工学教育協会高専部会シンポジ
ウム, 2015 年 12 月.
- B 地域との関わりを深めながら地域と共に学び成長する学習環境の構築～地域志向科目「社会
と工学」の紹介～, (竹口, 大津, 新富, 山之内, 大久保, 蓮実, 藤本と共著), 平成 27 年度東
海工学教育協会高専部会シンポジウム, 2015 年 12 月.
- B 蒸留塔監視システムの開発によるバイオエタノール蒸留の効率化, (戎, 小倉, 竹口と共著),
第 21 回高専シンポジウム in 香川講演要旨集, Pa-106, 2016 年 1 月.
- B 理科教育支援を目的とした振子実験環境の開発, (西留, 眞野と共著), 第 21 回高専シンポジ
ウム in 香川講演要旨集, Pb-075, 2016 年 1 月.
- B 製菓工場廃棄バイオマスからのエタノール生産, (小倉, 戎, 竹口と共著), 第 18 回化学工学
会学生発表会(浜松大会)講演要旨集, p.53, 2016 年 3 月.
- B 低学年における主体的な学びを促すミニ研究への取組み, (嶋, 松澤と共著), 平成 28 年度全
国高専フォーラムポスターセッション(教育研究活動発表), A-8, 2016 年 8 月.
- B 地域との関わりを深めながら地域と共に学び成長する社会実装教育の構築～地域志向科目
「社会と工学」の紹介～, (竹口, 大津, 新富, 山之内, 大久保, 小林, 蓮実, 藤本と共著), 平
成 28 年度全国高専フォーラムポスターセッション(教育研究活動発表), E-4, 2016 年 8 月.
- B 熱流体計測センサの周波数特性の性能向上に関する研究, (牛山と共著), 日本高専学会第
22 回年会・講演会, P115, 2016 年 8 月.
- B 熱流体用温度センサの特性検定の高精度化に関する検討, (三室と共著), 日本高専学会第
22 回年会・講演会, P116, 2016 年 8 月.
- B 地域の廃棄バイオマスを利用した教材開発～融合複合分野の実践的教育システムの構築を
目指して～, (竹口, 新富, 古川, 青山, 佐藤, 蓮実と共著), 日本高専学会第 22 回年会・講演
会, P512, 2016 年 8 月.
- B 工学教育支援を目的とした「振子」教材の開発, (西留と共著), 日本高専学会第 22 回年会・講
演会, P513, 2016 年 8 月.
- B 連成振子の共振現象の解析:再訪問, (舟田と共著), 沼津工業高等専門学校研究報告第 50

- 号, pp.21-26, 2016 年 1 月.
- B 連成振子の共振現象の解析: 振れ効果との競合, (舟田と共著), 沼津工業高等専門学校研究報告第 50 号, pp.27-32, 2016 年 1 月.
- B 2 つの単振子をバネで繋いだ連成振動系の共振現象解析, (舟田と共著), 沼津工業高等専門学校研究報告第 50 号, pp.33-38, 2016 年 1 月.
- B 技術者教育のための工業力学教材の整備(13): 円運動と振子の運動, (舟田, 大脇と共著), 沼津工業高等専門学校研究報告第 50 号, pp.39-44, 2016 年 1 月.
- B 技術者教育のための工業力学教材の整備(14): 単振子の大幅振動の修正 Lindstedt-Poincaré 法による解析, (舟田と共著), 沼津工業高等専門学校研究報告第 50 号, pp.45-50, 2016 年 1 月.
- B 技術者教育のための工業力学教材の整備(15): 角運動量の導入時期・方法の工夫, (舟田と共著), 沼津工業高等専門学校研究報告第 50 号, pp.51-56, 2016 年 1 月.
- B 技術者教育のための工学数理の力学教材の改定(49): Scalar Potential, (舟田と共著), 沼津工業高等専門学校研究報告第 50 号, pp.57-62, 2016 年 1 月.
- B 剛体棒で連結された並列バネと物体の連成振動, (舟田と共著), 沼津工業高等専門学校研究報告第 50 号, pp.81-86, 2016 年 1 月.
- D 文部科学省, 科研費挑戦的萌芽研究「FPGA による温度・速度の完全多点計測法の実用化と乱流輸送に及ぼす成層効果の解明」, 研究代表者(課題番号:16K14164), 2016 年度~2018 年度.
- D 文部科学省, 科研費基盤研究(C)「地域の廃棄物問題を教育に: 融合複合分野の実践的教育システム構築を目指して」, 連携研究者(課題番号:15K00946), 2015 年度~2017 年度.

大沼 巧

- A AC ドライブシステムのセンサレスベクトル制御, 電気学会・センサレスベクトル制御の整理に関する調査専門委員会編, オーム社, 2016 年 9 月
- B Adaptive Signal Injection Method Combined with EEMF-based Position Sensorless Control of IPMSM Drives (齋藤, 馬飼野と共著), IEEJ Journal of Industry Applications, Volume 4, No.4, pp.454-459, 2015
- B Current Control of PMSM Based on Maximum Torque Control Reference Frame, The 3rd International Conference of Global Network for Innovative Technology (IGNITE 2016), Penang, Malaysia, 2016
- B 磁気飽和を考慮した最大トルク制御座標系の位相角決定法の検討(太田, 岩田と共著), 電気学会産業応用部門大会 講演論文集, Y-119, 2016
- B 磁気飽和特性の一次近似による最大トルク制御座標系の位相補償(岩田, 太田と共著), 電気学会産業応用部門大会 講演論文集, 3-45, 2016
- C 永久磁石同期モータにおける位置センサレス制御の抵抗変動に対する高ロバスト化(河合と共著), 日本高専学会 第 22 回年会, P244, 2016
- C 永久磁石同期モータの電圧飽和時における最大トルク応答制御(山本と共著), 日本高専学会 第 22 回年会, P242, 2016

- C 永久磁石同期モータにおける位置センサレス制御時のインダクタンス変動に対する高ロバスト化(望月と共著), 日本高専学会 第 22 回年会, P241, 2016
- C 永久磁石同期モータにおける最大トルク制御座標系の位相角決定法の検討(太田, 岩田と共著), 日本高専学会 第 22 回年会, P240, 2016
- D 電気学会 東京支部沼津支所 委員
- D 電気学会 論文委員会 委員(D3グループ)
- D International Power Electronic Conference (IPEC) 2018 論文委員会トラックメンバー委員
- D 電気学会 センサレスベクトル制御の整理に関する調査専門委員会 委員(2013年11月1日から2015年10月31日)

青木 悠祐

- B 潜在ニーズ顕在化マッピングを活用した社会実装ロボット教育の実践(単著), 第 33 回日本ロボット学会学術講演会講演概要集, DVD-ROM, 1C2-02, 2015年9月.
- B 超音波診断支援のための熟練手技解析に基づいた特徴量抽出(鈴木, 佐野, 遠藤と共著), 第 58 回自動制御連合講演会講演論文集, CD-ROM, 2F3-5, 2015年11月.
- B 生体信号処理に基づいた疲労要因分析と超音波診断支援システムの提案(遠藤, 鈴木, 田中と共著), 第 58 回自動制御連合講演会講演論文集, CD-ROM, 2F3-1, 2015年11月.
- B 超音波診断におけるメンタルローテーション能力の計測と評価(佐野, 鈴木と共著), 第 58 回自動制御連合講演会講演論文集, CD-ROM, 2F2-4, 2015年11月.
- B 走査手技解析に基づいたロボットによる超音波診断・治療補助システムの構築(田中, 佐野, 鈴木, 遠藤, 瀬戸と共著), 第 16 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会講演論文集, USB, 2B2-6, 2015年12月.
- B 超音波診断におけるメンタルローテーション能力の計測とロボット支援システムの提案(赤池, 佐野と共著), 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015 予稿集, p.7, 2015年12月.
- B ロボットによる超音波診断支援のための協調動作システムの構築(五十嵐, 瀬戸, 田中と共著), 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015 予稿集, p.6, 2015年12月.
- B 遠隔力覚転送システムのためのテレコピーロボットに関する基礎研究(石井, 田中と共著), 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015 予稿集, p.5, 2015年12月.
- B 橋梁調査・点検ロボットによる橋梁下撮像システムの構築(大山, 遠藤, 鈴木と共著), 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015 予稿集, p.8, 2015年12月.
- B 超音波診断におけるプローブ走査時のメンタルローテーション能力の評価(赤池, 佐野, 鈴木と共著), 第 21 回高専シンポジウム in 香川講演要旨集, PDF, I-11, 2016年1月.
- B 超音波診断・治療補助ロボット ReDAT による協調動作のための検査者の意図推定(五十嵐, 瀬戸, 田中と共著), 第 21 回高専シンポジウム in 香川講演要旨集, PDF, G-01, 2016年1月.
- B 遠隔力覚共有を目的とした双腕テレコピーロボットの開発(石井, 田中と共著), 第 21 回高専シンポジウム in 香川講演要旨集, PDF, G-02, 2016年1月.
- B 臓器トラッキングのための超音波断層像処理に基づくビジュアルフィードバック系の構築(大山, 佐野と共著), 第 21 回高専シンポジウム in 香川講演要旨集, PDF, I-12, 2016年1月.
- B 橋梁調査・点検のためのレール走行型橋梁下面撮像ロボットの開発(吉村, 大山, 遠藤, 鈴木

- と共著), 第 21 回高専シンポジウム in 香川講演要旨集, PDF, G-03, 2016 年 1 月.
- B 小型自律移動ロボット開発を通じた巡回警備競技会の実践(牛丸, 大林, 小谷, 鈴木と共著), 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 2016 in Yokohama, DVD-ROM, 2P1-17a7, 2016 年 6 月.
- B 超音波診断・治療補助ロボット ReDAT による力制御のための検査者意図推定(赤池, 瀬戸, 五十嵐, 田中と共著), 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 2016 in Yokohama, DVD-ROM, 1A2-02a3, 2016 年 6 月.
- B 橋梁調査・点検ロボットによる橋梁下面撮像・再構成システムの構築(吉村, 大山, 田中と共著), 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 2016 in Yokohama, DVD-ROM, 2A2-09a5, 2016 年 6 月.
- B 超音波診断支援システムのための 3 次元追従ビジュアルフィードバック系の構築(大山, 赤池, 佐野と共著), 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 2016 in Yokohama, DVD-ROM, 1A2-02a7, 2016 年 6 月.
- B 遠隔力覚転送のための双腕テレコピーロボットの開発(高橋と共著), 第 22 回日本高専学会年会講演会講演論文集, DVD-ROM, P239, 2016 年 8 月.
- B フィールドフィルタリングを目的とした橋梁調査ロボットシステムの構築(遠藤, 赤池, 大山, 吉村と共著), 第 22 回日本高専学会年会講演会講演論文集, DVD-ROM, P238, 2016 年 8 月.
- B ロボットによる超音波診断支援のための検査者意図推定(瀬戸, 大石と共著), 第 22 回日本高専学会年会講演会講演論文集, DVD-ROM, P237, 2016 年 8 月.
- C 容易に設置・検査可能な橋梁調査点検ロボットの開発(大山, 吉村, 田中と共著), KOSEN 発“イノベティブ・ジャパン”プロジェクト社会実装教育フォーラム, 2016 年 3 月.
- C 滴下調整デバイス開発を通じた現場の本音の見つけ方(瀬戸, 佐野と共著), KOSEN 発“イノベティブ・ジャパン”プロジェクト社会実装教育フォーラム, 2016 年 3 月.
- D KOSEN 発“イノベティブ・ジャパン”プロジェクト 社会実装コンテスト社会実装賞(要素技術ハードウェア)(大山, 吉村, 田中と連名), 容易に設置・検査可能な橋梁調査点検ロボットの開発.
- D KOSEN 発“イノベティブ・ジャパン”プロジェクト 社会実装コンテスト社会インフラ用ロボット賞(大山, 吉村, 田中と連名), 容易に設置・検査可能な橋梁調査点検ロボットの開発.
- D KOSEN 発“イノベティブ・ジャパン”プロジェクト 社会実装コンテスト社会実装賞(瀬戸, 佐野と連名), 滴下調整デバイス開発を通じた現場の本音の見つけ方.
- D 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015 制御・情報分野最優秀賞(大山, 遠藤, 鈴木と連名), 橋梁調査・点検ロボットによる橋梁下撮像システムの構築.
- D 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015 制御・情報分野優秀賞(赤池, 佐野と連名), 超音波診断におけるメンタルローテーション能力の計測とロボット支援システムの提案.
- D ロボカップジュニア沼津ノード運営委員会 ノード運営委員(広報)(継続)
- D 電気学会 人センシング及び生体情報に関する調査専門委員会 委員(継続)
- D 日本ロボット学会 会誌編集委員会 委員(2016 年 4 月～)
- D 日本ロボット学会 事業計画委員会 委員(2016 年 4 月～)
- D 「人を支える医療ロボットを創る～ものづくりに大切なこと～」, 東京都市大学附属中学キャリア

スタディ「業あり先生」, 2016年6月19日.

- D 文部科学省, 大学間連携共同教育推進事業, 「KOSEN 発“イノベーティブ・ジャパン”プロジェクト」, 分担校取組責任者(代表校:東京高専), 2012-2016.
- D 文部科学省, 科学研究費補助金, 若手研究(B), 「メンタルローテーション能力を再現する創発的医療支援ロボットシステムの構築」, 研究代表者(研究課題番号:15K16341), 平成27年度～平成29年度.
- D 文部科学省, 科学研究費補助金, 基盤研究(B), 「テレコピーロボットを用いた遠隔地間における運動と力覚の複製」, 研究分担者(研究課題番号:15H03937), 平成27年度～平成29年度.

大林 千尋

- C 「小型自律移動ロボット開発を通じた巡回警備競技会の実践」, (青木, 牛丸, 小谷, 鈴木と共著), 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 2016 in Yokohama, DVD-ROM, 2P1-17a7
- C ヒートベッド温度制御システムの構築(堀部と共著), 第22回日本高専学会年会論文集, DVD-ROM P234
- C 没入型HMDを用いた在宅用平衡感覚評価システムの開発(櫻井と共著), KOSEN 発“イノベーティブ・ジャパン”プロジェクト社会実装コンテストH27年度最終発表会予稿集
- D 平成28年度 高専一長岡技科大共同研究助成, 生体信号を用いた力制御系による個人適応型手関節アシストスーツの開発, 研究代表者, 2016年4月から2017年3月まで.
- D 平成28年度アカデミック・チャレンジ(チャレンジラボ), 生体信号計測と処理に関する基礎研究～3Dプリンタや基板加工機を使ってオリジナル心電計を作って学ぶ～, 沼津高専(沼津市), 2016年8月22日から2016年8月25日まで.
- D 中学生のためのミニ体験授業「DIYで始める3Dプリンタ入門講座」, 沼津高専(沼津市), 2016年11月5日.
- D 文部科学省, 大学間連携共同教育推進事業, 「KOSEN 発“イノベーティブ・ジャパン”プロジェクト」, 分担校実行委員, 2013-2016.
- D ロボカップジュニア沼津ノード運営委員会ノード 運営委員, 2016年04月01日から2017年03月31日まで.

○制御情報工学科

宮下 真信

- A 豊橋技科大-高専連携研究報告書. 「連続聴効果に関する数理モデル研究」宮下真信.
- B コラム構造形成の理論 田中繁、宮下真信、Clinical Neuroscience, vol.134, 880-884 (2016.8).
- C Self-organization of receptive fields and orientation maps in layer 2/3 of the primary visual cortex: Comparisons between cats and rodents. 46th Annual Meeting of Society for Neuroscience. M. Miyashita, N. Wakabayashi, & S. Tanaka. 2015年10月.
- C 連続聴効果に関する数理モデル研究. 豊橋技科大-高専連携研究報告会、宮下真信、遠藤拓夢、2015年12月.

- C Functional roles of orientation representation for visual information preservation. 日本神経科学会 Shinpei Ishikawa, Masanobu Miyashita, Junsei Horikawa and Shigeru Tanaka. 2016年7月
- C 方位表現の規則性と視覚情報保持に関する理論研究. 視覚科学フォーラム、宮下真信、田中繁. 2016年8月.
- D 豊橋技科大-高専連携研究「大脳感覚野における情報表現に関する基礎研究(生後の視覚経路が皮質コラム構造に与える影響に関する研究)」2015年4月から2016年3月.
- D 豊橋技科大-高専連携研究「大脳感覚野における情報表現に関する基礎研究(生後の視覚経路が皮質コラム構造に与える影響に関する研究)」継続 2016年4月から.
- D 電情報通信学会 研究専門委員 2016年4月から2017年3月まで継続
- D 電子情報通信学会、選奨委員
- D 日本神経回路学会論文賞選考委員 2016年から
- D 科学技術研究費 基盤(C)代表採択.「聴覚野の情報表現に関する数理モデル研究:連続聴覚効果を例として」2016年4月から

藤尾 三紀夫

- B 予測補正制御に基づく高速高精度な多軸加工システムの開発ーダイレクト5軸加工制御システムの構築ー, 第21回高専シンポジウム in 香川講演予稿集, G04, 丸亀市生涯学習センター(高松市), 2016年1月23日.
- B 予測補正制御に基づく高速高精度な多軸加工システムの開発ーダイレクト5軸加工制御システムの構築ー, 精密工学会第23回学生会員卒業研究発表講演会予稿集, M21, 東京理科大学野田キャンパス(野田市), 2016年3月15日.
- B 画像処理に基づく患者の状態監視支援システムの開発, 第21回知能メカトロニクスワークショップ講演概要集(IMEC2016), 1B1-4, 公立はこだてみらい大学(函館市), 2016年8月28日.
- B 予測補正制御に基づく高速高精度な多軸加工システムの開発ーダイレクト5軸加工制御システムの構築ー, 第21回知能メカトロニクスワークショップ講演概要集(IMEC2016), 1C2-2, 公立はこだてみらい大学(函館市), 2016年8月28日.
- D 静岡県東部地区精密技術研究会監事, 2014年3月より継続
- D 精密工学会 2016年度校閲委員会協力委員, 2009年から継続
- D 精密工学会東海支部商議員, 2010年4月から継続
- D 精密工学会東海支部企画幹事, 2010年4月から2016年3月まで
- D 精密工学会評議委員, 2010年4月から継続
- D 精密工学会代議員, 2010年4月から継続
- D しずおか産業創造機構・医療機器開発テーマ実現化会議の委員, 2015年6月1日から2016年3月31日まで
- D International Journal of Automation Technology, 富士技術出版株式会社査読委員, 2015年4月1日から2016年3月31日まで
- D 公開講座「3次元CAD入門」, 沼津高専(沼津市), 2016年7月31日

- D 中学生のための体験授業「コンピュータグラフィックスの基礎を理解して、CGプログラミングにチャレンジしよう!」, 沼津高専(沼津市), 2016年10月2日
- D 高専機構第2ブロック研究協働化「医療福祉研究開発グループ」グループリーダー, 2016年6月から2017年4月まで

芹澤 弘秀

- B Plane wave diffraction by two rectangular holes in a thin conducting screen—Derivation of the exact solution—, 電子情報通信学会技術研究報告 [環境電磁工学], EMCJ2015-80(EST2015-90), vol. 115, no. 259, pp. 129-133, 仙台, October 23, 2015.
- B EM leakage from a rectangular hole in a thick conducting screen—Calculation of the power flow near the aperture—(Souichirou Suzuki, Shinichi Hirao と共著), 電子情報通信学会技術研究報告 [環境電磁工学], EMCJ2015-126, vol. 115, no. 509, pp. 11-16, 東京, March 11, 2016.
- D 中学生のための体験授業「ロジックICでロボットを動かそう」を実施, 沼津高専(沼津市), 2015年10月10日.
- D 3年生を対象とした進路学習会において講演「進路決定を控えた中学校3年生へ～数学・理科の大切さとおもしろさ～」を実施, 御殿場市立原里中学校(御殿場市), 2015年10月27日.
- D 公開講座「波でバラバラにする! ? 初学者のためのフーリエ解析入門」を実施, 沼津高専(沼津市), 2016年8月27日.
- D 独立行政法人日本学術振興会, 科学研究費助成事業, 基盤研究(C)「導体のエッジ特性を考慮した超高精度三次元電磁波解析法の開発」研究代表者.

鈴木 康人

- D 富士通株式会社-沼津高専 人事交流 学外研修 2015年4月1日から2016年3月31日まで
- D 公開講座「バグ0件や仕様変更に対応できるプログラミング技術への招待」, 沼津高専(沼津市), 2016年8月27日.

大久保 進也

- B LabVIEW MathScript RT モジュールを用いた偏光学習教材の開発, 第76回応用物理学会秋季学術講演会講演予稿集, 15a-PA1-16, (2015年9月).
- B 計測システム開発ツールを利用した光学教育用教材の開発, 第26回物理教育に関するシンポジウム, 講演予稿集, p.22-23, 1A10, (2015年10月).
- B 簡易型複屈折光学顕微鏡による試料の観察, 第63回応用物理学会春季学術講演会講演予稿集, 20p-P2-1, (2016年3月).
- B 円偏光照明を用いた複屈折実体顕微鏡の開発, ロボティクス・メカトロニクス講演会'16 講演論文集, No.16-2, 1A1-19a7, (2016年6月).

山崎 悟史

- A 書籍「IoT ビジネス・機器開発における潜在ニーズと取り組み事例集」清水他 59名(分担執筆,

- 第 9 章 第 3 節を担当), (株)技術情報協会, 2016.5.31.
- B Performance Analysis of Total Power Consumption for Linear Multi-hop Networks (S.Yamazaki, K.Oouchi), 18th International Symposium on Wireless Personal Multimedia Communications (WPMC2015), 6 pages in USB, Dec.14, 2015, Hyderabad, India.
- C AODV と OLSR のエネルギー効率に関する特性比較 (N.Aihara, S.Yamazaki, H.Mizuno, K.Oouchi), 電子情報通信学会研究会報告 [モバイルネットワークとアプリケーション], pp.55-59, 神戸大学瀧川記念学術交流会館, 2016.8.2.
- C 無線全二重マルチホップ通信におけるエネルギー効率低減化(Y.Abiko, S.Yamazaki, H.Mizuno), 電子情報通信学会 研究会報告 [無線分散ネットワーク特集], pp.1-6, 名古屋工業大学 御器所キャンパス, 2016.7.20.
- C シェドウィングがアドホックネットワークのエネルギー効率に与える影響 (S.Yamazaki, N.Aihara, H.Mizuno, K.Oouchi), 電子情報通信学会 研究会報告 [無線通信システム], pp.1-6, 機械振興会館, 2016.5.19.
- C 農業 M2M センサデータと回帰モデルを用いた収穫推定に関する基礎評価 (S.Yamazaki, Y.Sugiyama, A.Daikoku), 電子情報通信学会総合大会, 九州大学 伊都キャンパス, 2016.3.16.
- C オープンソースを活用した M2M/IoT メカトロニクス教育 (S.Yamazaki, R.Kataoka), 情報処理学会 第 78 回全国大会, 慶應義塾大学 矢上キャンパス, 2014.3.10.
- C 無線全二重マルチホップ通信のエネルギー効率に関する一検討 (Y.Abiko, S.Yamazaki), H27 年度電子情報通信学会東海支部 卒業研究発表会, 愛知県立大学 情報科学部棟, 2016.3.4.
- C シェドウィング環境における無線アドホックルーティングのエネルギー効率 (N.Aihara, S.Yamazaki), H27 年度 電子情報通信学会東海支部 卒業研究発表会, 愛知県立大学, 2016.3.4.
- C 事例研究によるネットワーク技術の体系化とその教育展開 -第 1 報 コンセプトと実験システム-, 情報処理学会研究会報告 [教育とコンピュータ], pp.1~6, 福井市地域交流プラザ, 2015.12.6.
- C 時周波数空間を活用した無線分散ネットワークの展開, 電気学会 第 22 回山梨・沼津支所研究発表会, pp.21~26, 山梨大学情報メディア館, 2015.11.17.
- C 一般就農者向け イチゴ栽培の環境計測・分析の取り組み (大黒他 7 名と共著), 電子情報通信学会研究会報告 [知的環境とセンサネットワーク], pp.55~59, 東京都 情報通信研究機構, 2015.11.6.
- C アドホックルーティングが端末電力消費に与える影響 (S.Yamazaki, H.Mizuno, K.Oouchi), 電子情報通信学会ソサエティ大会, pp.55, 東北大学川内北キャンパス, 2015.9.10.
- D 農業 IoT システムを利用したデータ分析報告-収穫量予測の基礎評価-, JA 伊豆の国苺栽培研究集会, JA 伊豆の国葎山集出荷センター, 2016.7.15.
- D MANET ルーティングに伴うエネルギー効率, 電気学会通信技術研究会, 茨城大学日立キャンパス, 2016.7.26.
- D IoT/5G 実現に向けた無線分散ネットワークの研究開発, 電気学会通信技術研究会, 国土舘大学世田谷キャンパス, 2016.3.26.
- D 沼津高専公開講座「情報技術基礎講座③(ネットワーク)」開催, 2016.8.6.

- D (社)電気学会 診断・監視技術の共通基盤に関する研究委員会委員 (2014.12~2016.11)
- D (社)電気学会 高信頼・高セキュア無線通信ネットワーク技術調査専門委員会 委員 (2015.6~2018.5)
- D 公益財団法人 高橋産業経済研究財団 平成 28 年度研究助成「多種大量データと無線ネットワークを活用した農作業最適化システムの開発」(2016.4~2017.3, 研究代表者)
- D 独立行政法人日本学術振興会, 科学研究費助成事業, 基盤研究C, 「近未来予測型農業を拓くIoT×ビッグデータの研究と実証」(継続, 研究代表者)

○物質工学科

芳野 恭士

- B サラシア属植物 *Salacia reticulata* のスーパーオキシドアニオンラジカル捕捉作用(勝亦, 筒井, 志賀, 芳野, 片平, 山崎, 一杉, 金高及び古賀と共著), 技術・教育研究論文誌, **22**(2), 35-40(2015).
- B ダイズ (*Glycine max*) 種子に対する宇宙微小重力下での保管の影響(古川, 押川, 竹口, 蓮実, 後藤, 藁科及び山根と共著), 技術・教育研究論文誌, **23**(1), 13-30(2016).
- B 門池の水を考える, かどいけ通信, **47**, 6(2016).
- B 食品素材としてのセルロースの利用, 紙パルプの技術, **66**(4), 17-22(2016).
- B 香煎茶加工した烏龍茶の糖吸収抑制作用(善養寺, 清水及び清水と共著), 沼津高専研究報告, **50**, 87-90(2016).
- B アルコール抽出による雲南百薬 (*Anredera cordifolia*) エキスの代謝症候群改善効果(丸山及び嘉島と共著), 応用薬理, **90**(1/2), 25-30(2016).
- C Preventive effects of ethanol extract prepared from *Anredera cordifolia* leaf on hepatic disorders in high fat and high fructose diet-treated mice(山田, 丸山, 山内, 新井及び榊山と連名), 第20回静岡健康・長寿学術フォーラム, 2015年10月, 静岡.
- C Inhibitory effect of various teas treated by Kosencha-process on rat small intestinal α -glucosidase activity(伊藤及び清水と連名), 第20回静岡健康・長寿学術フォーラム, 2015年10月, 静岡.
- C Inhibitory effects of extracts prepared from leaves and stems of *Salacia* plant on skin ageing(小関, 芳野及び金高と連名), 第20回静岡健康・長寿学術フォーラム, 2015年10月, 静岡.
- C サラシア属植物のアンチエイジング作用に関する基礎研究(金高及び古賀と連名), 第8回サラシア属植物シンポジウム, 2015年11月, 東京.
- C アカザカズラのエタノールエキスの高脂肪高ショ糖食飼育マウスにおける肝障害に対する予防作用(山田, 山内, 新井及び榊山と連名), 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015, 2015年12月, 沼津.
- C コタラヒムブツの葉と幹の抽出物の皮膚老化に対する阻害作用(小関, 芳野及び金高と連名), 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015, 2015年12月, 沼津.
- C サラシアの葉と幹の抽出物の皮膚におけるアンチエイジング作用(小関, 池谷, 芳野及び金高と連名), 第21回高専シンポジウム in 香川, 2016年1月, 丸亀.

- C アカザカズラ抽出物のマウス非アルコール性脂肪性肝炎モデルに対する予防作用(山田, 本間, 山内, 新井及び榊山と連名), 第 21 回高専シンポジウム in 香川, 2016 年 1 月, 丸亀.
- C 門池の水環境～2015 年の調査を中心に～, 第 13 回門池の水と環境を考える会, 2016 年 2 月, 沼津.
- C 種々の緑茶の香煎茶処理による保健作用の変化(窪田, 塩川, 伊藤及び清水と連名), 第 31 回茶学術研究会講演会, 2016 年 3 月, 静岡.
- D 機能性食品の評価～コタラヒムブツなど～. 第 10 回静岡県東部テクノフォーラム in 沼津高専, 2015 年 12 月, 沼津.
- D 沼津高専の産学官連携活動を紹介. 富士山・東北海道 広域ビジネスマッチング「食&農」こだわりの逸品展示会 2015, 2015 年 11 月, 沼津.
- D 沼津高専の産学官連携活動を紹介. ふじのくに総合食品開発展 2016, 2016 年 2 月, 静岡.
- D 沼津高専の産学官連携活動を紹介. 富士山麓産学官金連携フォーラム 2016, 2016 年 2 月, 沼津.
- D 地域産業とのさらなる連携を目指して, 沼津高専地域共同テクノセンターニュース, 11, 6(2015).
- D 門池の水質浄化考える, 沼津朝日新聞, 2016 年 2 月 18 日.
- D Inhibitory effects of extracts prepared from leaves and stems of *Salacia* plant on skin ageing(小関, 芳野及び金高と共著), 第 20 回静岡健康・長寿学術フォーラム記録集, p.45(2016).
- D Preventive effects of ethanol extract prepared from *Anredera cordifolia* leaf on hepatic disorders in high fat and high fructose diet-treated mice(山田, 丸山, 嘉島, 山内, 新井及び榊山と共著), 第 20 回静岡健康・長寿学術フォーラム記録集, p.46(2016).
- D Inhibitory effect of various teas treated by Kosencha-process on rat small intestinal α -glucosidase activity(伊藤及び清水と共著), 第 20 回静岡健康・長寿学術フォーラム記録集, p.55(2016).
- D 平成 28 年度日本酸化ストレス学会評議員.

大川 政志

- B 分子動力学法による SiO_2 組成フォージサイトの熱膨張変化の研究(堤, 大石, 松本, 山口と共著), *Journal of Computer Chemistry, JAPAN*, Vol.14, No. 4, p.105-110, (2015).
- B 分子動力学プログラム MXDORTO 用可視化ソフトウェア MDVIS の開発(大石と共著), *Journal of Computer Chemistry, JAPAN*, Vol. 14, No. 4, p. 147-151, (2015).
- B ナノチューブ状粘土鉱物イモゴライトおよび類似化合物の合成、紙パルプの技術, 第 66 巻, 第 2 号, pp.34-39, 平成 27 年 10 月.
- C ^{27}Al NMR による Ge-imogolite の生成プロセスの研究(吉川と共著)第 59 回粘土科学討論会, 山口大学 (山口市) 2015 年 9 月 4 日.
- C アルカリ・アルカリ土類イオン混合ケイ酸塩ガラス/融体の分子動力学計算(岩田, 澤口, 佐々木と共著), 日本コンピュータ化学会 2015 年秋季年会, 函館市地域交流まちづくりセンター(函館市) 2015 年 10 月 31 日
- C マグネシウム加水分解反応に対する金属塩の共存効果(植田, 藁科と共著), 46 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 三重大学(津市), 2015 年 11 月 7 日

- C Imogolite の ^{29}Si 及び ^{27}Al NMR スペクトルに与える Ge 置換の影響 (野秋, 杉澤と共著), 日本セラミックス協会 2016 年年会, 早稲田大学(東京), 2016 年 3 月 14 日.
- C DLS 及び UV-VIS による Fe 含有 Ge-imogolite の生成過程の検討 (加藤, 渡邊, 長田, 山根と共著), 日本セラミックス協会 2016 年年会, 早稲田大学(東京), 2016 年 3 月 14 日.
- C ^{11}B MAS NMR スペクトルにおけるホウ酸ナトリウム結晶の 4 配位ホウ素の量子化学計算を用いた同定 (三好, 鈴木, 杉山, 橋本と共著), 第 59 回固体 NMR 材料フォーラム, 旭化成(株) 富士支社(富士市), 2016 年 5 月 19 日.
- C Ge 部分置換アルミノシリケートナノチューブの ^{29}Si 及び ^{27}Al MAS NMR スペクトル (野秋と共著), 第 59 回固体 NMR 材料フォーラム, 旭化成(株) 富士支社(富士市), 2016 年 5 月 19 日.
- C Formation of Germanium Analog of The Tubular Aluminosilicate imogolite Containing Fe (加藤, 渡邊, 長田, 吉川, 山根と共著) Nanotech France 2016 International conference & exhibition, ポール大学(パリ市) 2016 年 6 月 1 日.
- C 鉄イオン含有アルミノゲルマネートナノチューブの生成過程の検討 (石田, 加藤, 渡邊と共著), 日本高専学会 第 22 回年会沼津高専(沼津市) 2016 年 8 月 27 日.
- C アルミノゲルマネートナノチューブの生成過程の検討 (堀本, 石田, 吉川と共著), 日本高専学会 第 22 回年会沼津高専(沼津市) 2016 年 8 月 27 日.
- C 量子化学計算による多孔質シリカ表面の酸性質に関する研究(望月と共著), 日本高専学会 第 22 回年会沼津高専(沼津市) 2016 年 8 月 27 日.
- C コレステロール置換ヒアルロン酸の合成と機能(松島, 山根, 大沼, 澤田, 佐々木, 秋吉と共著), 日本高専学会 第 22 回年会沼津高専(沼津市) 2016 年 8 月 27 日.
- D 沼津高専公開講座「固体材料分析基礎講座 -沼津高専物質工学科で分析できること-, 沼津高専(沼津市), 2015 年 10 月 24 日
- D 中学生のための体験授業「コバルトの化学」, 沼津高専(沼津市), 2015 年 10 月 10 日
- D なつやすみこどもだいがく 2016, プラザヴェルデ(沼津市), 2016 年 8 月 20 日
- D 平成 27 年度静岡県資質向上プログラム(外部研究員), 2015 年 6 月 22 日から 2016 年 3 月 31 日まで.

竹口 昌之

- B ダイズ(Glycine max)種子に対する宇宙微小重力下での保管の影響(古川, 押川, 蓮実, 後藤, 藁科, 山根, 芳野と共著), 電気化学会技術・教育研究論文誌, 第 23 巻, (2016.6), pp.13-30.
- C ラクトバチルス・ペントーサス培養上澄の大腸菌生育への影響(秋山, 蓮實と共著), 第 20 回静岡健康・長寿学術フォーラム, 沼津, 2015 年 10 月 30 日
- C セルラーゼによるバガス糖化反応促進物質の探索(金子, 伊藤, 蓮實と共著), 第 45 回石油・石油化学討論会, 名古屋, 2015 年 11 月 6 日
- C 地域との関わりを深めながら地域と共に学び成長する学習環境の構築～地域志向科目「社会と工学」の紹介～(大津, 新富, 山之内, 大庭, 大久保, 蓮實, 藤本と共著), 東海工学教育協会高専部会シンポジウム, 三島, 2015 年 12 月 4 日
- C 繊維凝集性酵母 *Geotrichum* sp. M111-3 を利用した製紙廃水中微細繊維の回収(笹本, 鈴木, 志田, 小笠原と共著), ソイルエンジニアリングシンポジウム, 長岡, 2015 年 12 月 17 日

- C 蒸留塔監視システムの開発によるバイオエタノール蒸留の効率化(小倉, 戎, 大庭と共著), 高専シンポジウム, 香川, 2016年1月23日
- C 製紙廃水凝集物の酵素糖化によるグルコースの生産(安藤, 小林, 笹本, 小笠原, 志田と共著), 第18回化学工学会学生発表会(浜松大会), 浜松, 2016年3月5日
- C 製菓工場廃棄バイオマスからのエタノール生産(小倉, 戎, 大庭と共著), 第18回化学工学会学生発表会(浜松大会), 浜松, 2016年3月5日
- C セルラーゼによるバガス糖化反応促進物質の探索(金子, 伊藤, 蓮實と共著), 日本化学会主催第5回CSJ化学フェスタ2015, 東京 2015年10月15日
- C 地域との関わりを深めながら地域と共に学び成長する社会実装教育の構築～地域志向科目「社会と工学」の紹介～(大津, 新富, 山之内, 大庭, 大久保, 蓮實, 小林, 藤本と共著), 全国高専フォーラム, 岡山, 2016年8月26日
- C 沼津市内農業用溜池「門池」の水環境(高橋, 芳野, 齋藤, 松本, 芳野と共著), 日本高専学会年会, 沼津, 2016年8月27日
- C でん粉粕からのカルボキシメチルセルロース合成とタンパク質回収への利用(渡辺, 勝野, 蓮實, 上野, 眞柳, 佐藤と共著), 日本高専学会年会, 沼津, 2016年8月27日
- C 地域の廃棄バイオマスを利用した教材開発:融合複合分野の実践的教育システムの構築を目指して(新富, 大庭, 古川, 青山, 佐藤, 蓮實と共著), 日本高専学会年会, 沼津, 2016年8月27日
- D 平成27年度 日本化学会東海支部中学生のための化学実験講座講師
- D 平成28年度 公開講座「2016門池環境調査隊！」講師
- D 平成28年度 平成28年度静岡県資質向上プログラム(外部研究員)
- D 平成27・28年度 静岡化学工学懇話会理事
- D 平成27・28年度 化学工学会東海支部 幹事
- D 平成27年度 化学工学会 理科教育委員会委員
- D 平成28年度 化学工学会 未来人材育成委員会委員
- D 平成28年度 石油学会 石油化学部会委員
- D 平成28年度 高専シンポジウム協議会 理事
- D 平成27・28年度 沼津テニス協会 理事
- D 平成28年度 微生物化学研究所沼津支所環境安全連絡協議会専門委員

古川 一実

- B *ダイズ (Glycine max)* 種子に対する宇宙微小重力下での保管の影響, J. Technology and Education vol.23 No.1 pp.13-30, 押川達夫(沼津高専), 竹口昌之(沼津高専), 蓮實文彦(沼津高専), 後藤孝信(沼津高専), 藁科智之(沼津高専), 山根説子(沼津高専), 芳野恭士(沼津高専)と共著, 2016年3月.
- B *Camellia* 属における Dart(Direct Analysis in Real Time)スペクトルの特徴, 日本育種学会第128回講演会, 育種学研究 17(別2)p201, 小川桜子(沼津高専専攻科), 押川達夫(沼津高専), 芳野恭士(沼津高専), 荻野暁子(農研機構)と共同発表, 新潟大学(新潟市), 2015年9月12日.

- B *Camellia* 属植物におけるリボゾーム遺伝子の多様性と染色体構成, 日本育種学会 第 129 回講演会, 育種学研究 18(別 1)p157, 小川桜子(沼津高専専攻科), 杉山昇平(沼津高専), 飯田誠也(沼津高専), 太田智也(沼津高専), 近江戸伸子(神戸大学大学院)と共同発表, 横浜市立大学(横浜市), 2016 年 3 月 21 日.
- B チャ(茶樹: *Camellia sinensis*)の形質転換のための不定胚培養プロセス, 日本育種学会 第 129 回講演会, 育種学研究 18(別 1)p278, 小泉舞衣(沼津高専), 堀内郁美(沼津高専), 大嶋雅夫(農研機構), 田部井豊(農研機構), 一家崇志(静岡大学), 森田明雄(静岡大学)と共同発表, 横浜市立大学(横浜市), 2016 年 3 月 21 日.
- C カフェイン合成における *Camellia* 属植物のシークエンスおよび Dart スペクトルの比較, 第 23 回日本育種学会中部地区談話会, 小川桜子(沼津高専専攻科), 押川達夫(沼津高専), 芳野恭士(沼津高専), 荻野暁子(農研機構)と共同発表, 愛知県長久手市(愛知県農業総合試験場), 2015 年 11 月 22 日.
- C ボンバードメント法を用いたチャ(茶樹)の形質転換プロセスにおける培養特性, 第 23 回日本育種学会中部地区談話会, 小泉舞衣(沼津高専), 大嶋雅夫(農研機構), 田部井豊(農研機構)と共同発表, 愛知県長久手市(愛知県農業総合試験場), 2015 年 11 月 22 日.
- C *TCSI* 配列比較を目的とした *Camellia* 属植物の染色体 FISH, 第 23 回日本育種学会中部地区談話会, 杉山昇平(沼津高専), 太田智也(沼津高専)と共同発表, 愛知県長久手市(愛知県農業総合試験場), 2015 年 11 月 22 日.
- C さまざまな状況におけるチャ(*Camellia sinensis*)のカフェイン検出および検出法の比較, 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015, 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015 講演要旨集 P71, 小川桜子(沼津高専専攻科)と共同発表, プラザヴェルデ(沼津市), 2015 年 12 月 11 日.
- C The Karyotyping of *Camellia sinensis*, *C. japonica* and *C. sasanqua* using fluorescent in situ hybridization, Interdisciplinary German-Japanese Symposium, Colloquium Cell Biology Plant chromosomes and genomes, ドレスデン工科大学(ドイツ), 2016 年 5 月 10 日.
- D 第一三共プロファーマ株式会社子どもかがく教室, 第一三共プロファーマ株式会社平塚工場(平塚市), 2015 年 12 月 25 日.
- D 平成 26 年度(公財)新技術開発財団 植物研究助成研究課題「茶樹および近縁種のカフェイン合成酵素遺伝子の染色体における多様性調査」代表研究者.
- D 文部科学省, 科学研究費補助金, 基盤研究(B)「チャで検出されたニコチンの起源の解明」研究分担者.

薬科 知之

- B エネルギー資源としてのマグネシウム化合物の可能性, 化学と教育, Vol. 63, No. 9, (2015), pp. 436-437.
- B Solvent effects for spectroscopic properties of near-infrared absorbing nickel-dithiolene complex $[\text{Ni}(\text{dPr}_2\text{timdt})_2]$ (dPr_2timdt : monoanion of 1,3-diisopropylimidazolidine-2,4,5-trithione) (星野と連名), *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, Vol. 89, No. 7, (2016), pp. 836-841.
- B ダイズ(*Glycine max*)種子に対する宇宙微小重力化での保管の影響(古川, 押川, 蓮実, 後

- 藤, 山根, 芳野と連名), 電気化学会技術・教育研究論文誌, Vol.23, No.1, (2016), pp.13-30.
- C 水素化マグネシウム加水分解に対する添加物の効果(鈴木と連名), 日本高専学会第 22 回年会講演会, 沼津高専(沼津市), 2016 年 8 月.
- D 独立行政法人国立高等専門学校機構在外研究員(California State University, Los Angeles), 2015 年 4 月-2016 年 3 月.

山根 説子

- B *ダイズ (Glycine max)* 種子に対する宇宙微小重力下での保管の影響(古川, 押川, 竹口, 蓮実, 後藤, 藁科及び芳野と共著), 技術・教育研究論文誌, **23**(1), 13-30(2016).
- C 疎水化ヒアルロン酸-リン酸カルシウム複合粒子の合成, (高嶋, 森島, 澤田, 佐々木, 秋吉, 大沼らと共著), 第 64 回高分子討論会, 東北大学川内キャンパス(仙台市), 2015 年 9 月 16 日.
- C DLS 及び UV-VIS による Fe 含有 Ge-imogolite の生成過程の検討(加藤, 渡邊, 長田, 大川と共著), 日本セラミックス協会 2016 年年会, 早稲田大学(東京), 2016 年 3 月 14 日.
- C 疎水化ヒアルロン酸-リン酸カルシウムハイブリッド微粒子の合成, (松島, 大沼, 澤田, 佐々木, 秋吉らと共著), 日本化学会第 96 春季年会(2016), 同志社大学京田辺キャンパス(京田辺市), 2016 年 3 月 25 日
- C 両親媒性ヒアルロン酸を介したリン酸カルシウム粒子の作成, (山崎, 大沼, 澤田, 佐々木, 秋吉らと共著), 日本化学会第 96 春季年会(2016), 同志社大学京田辺キャンパス(京都), 日本, 2016 年 3 月 26 日
- C コレステロール置換ヒアルロン酸粒子の合成と機能, (松島, 大沼, 澤田, 佐々木, 秋吉らと共著), 第 65 回高分子年次大会, 神戸国際会議場・展示場(神戸市), 日本, 2016 年 5 月 26 日
- C 両親媒性低分子ヒアルロン酸を介したリン酸カルシウム粒子の作製, (山崎, 大沼, 澤田, 佐々木, 秋吉らと共著), 第 65 回高分子年次大会, 神戸国際会議場・展示場(神戸市), 2016 年 5 月 27 日
- C Formation of Germanium Analog of The Tubular Aluminosilicate imogolite Containing Fe (加藤, 渡邊, 長田, 吉川, 大川と共著) 2nd edition of Nanotech France 2016 International conference & exhibition, ポール大学(パリ市)2016 年 6 月 1 日.
- D 中学生のための化学実験講座, 沼津高専(沼津市), 2015 年 11, 12 月.

大島 一真

- B Low temperature catalytic water gas shift in an electric field(関根, 山岸, 野上, 小河と共著), Catalysis Letters, 146, pp.1423-1428, 2016.
- B 低温水素製造のための触媒と電気を複合した新規反応場の研究, 触媒学会誌, 58, pp.265-268, 2016.
- C 低温でのメタン水蒸気改質における電場印加効果(真鍋, 佐々木, 岡田, 関根と共著), 第 116 回触媒討論会, 津, 2015.9.
- C 水性ガスシフトにおける電場印加効果(山岸, 池田, 小河, 関根と共著), 第 45 回石油・石油化学討論会, 名古屋, 2015.11.

- C 電場アシストを用いた低温での水素製造の研究, 富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2015, 沼津, 2015.12.
- C Effect of electric field on catalytic methane steam reforming at low temperature over Pd/CeO₂(真鍋, 佐々木, 岡田, 小河, 関根と共著), The 3rd Catalysis for renewable sources, Tromso(Norway), 2016.6.
- C Low temperature oxidative coupling of methane using carbon dioxide in an electric field over Ca-doped LaAlO₃ catalysts(矢部, 杉浦, 上手, 小河, 関根と共著), Natural Gas Conversion Symposium 11, Tromso(Norway), 2016.6.
- D 静岡化学工学懇話会 幹事 2015年5月から現在
- D 次世代天然ガス利用を考える若手勉強会 委員 2015年12月から現在
- D フォーラム・会員の声～低学年からの専門教育の意義～, 触媒学会誌, 58, pp.251, 2016.
- D 出前授業「いろいろな電池をつくってみよう」, 浜北北部中(浜松市), 2015年10月27日
- D 出前授業「いろいろな電池をつくってみよう」, 沼津第四中(沼津市), 2015年11月12日
- D 出前授業「スライムを作ろう」, 第8回青少年のための科学の祭典富士山大会, 御殿場市民会館(御殿場市), 2015年11月8日

○教養科

佐藤 誠

- B 運動修正における述語形相の把握に関する現象学的一考察, スポーツ運動学研究 28, 19-30, 2015
- B THE PHENOMENOLOGICAL STUDY OF DIFFERENCES ABOUT A MOVEMENT UNDERSTANDING BETWEEN LEARNER AND LEADER, ECSS 2016, Vienna, Book of Abstracts, 2016 7月
- B Zur Problematik des Trainings der Sprunggrätsche(中村と共著), Jahrestagung der DVS-Kommission Gerätturnen 2016, Augsburg, Book of Abstracts, 8-9, 2016 9月
- D 日本体操協会公認体操競技男子第1種審判員
- D 東海体操協会評議員
- D 静岡県体操協会事務局長
- D 静岡県体育協会評議員
- D 日本スポーツ運動学会理事, 編集委員
- D International Journal of Sport and Health Science の論文査読委員を務める
- D 日本体操競技・器械運動学会の研究誌論文審査委員
- D 静岡市スポーツ指導者スキルアップ講習会の講師を務める。
- D 高専学会の座長及びポスター審査員を務める。

鈴木 久博

- A 『ホロコーストとユーマ精神』(広瀬佳司(ノートルダム清心女子大学), 佐川和茂(青山学院大学), 伊達雅彦(尚美学園大学)らと共著. 鈴木久博第3章「繰り返されるホロコーストとブラッ

クユーモア」担当), 彩流社, 2016 年 8 月.

- B イーサン・コーエン短編集『エデンの門』に見るユダヤのユーモア, 日本ユダヤ系作家研究会機関誌『シュレミール』, 第 15 号, pp.33-42, (2016 年 3 月).
- C 繰り返されるホロコーストとブラックユーモア — バーナード・マラマッドの『神の恩寵』, 日本ユダヤ系作家研究会第 27 回講演会, シンポジウム「ホロコーストに見るユーモア」, 岡山市, 2016 年 3 月 26 日.
- D 日本ユダヤ系作家研究会機関誌『シュレミール』査読委員.

成田 智子

- C 教員のためのワークショップにおけるアクションリサーチ発表, 名古屋外国語大学(名古屋市), 2016 年 6 月 11 日, 7 月 9 日, 8 月 7 日, 9 月 10 日

村上 真理

- D 「日本群読教育の会」全国研究集会開催実行委員 2016 年 7 月から
- D 「日本群読教育の会」第15回全国研究集会2016年7月30日, 神奈川学園中学校・高等学校, 分科会(学習Ⅱd 英語) 司会進行および会場責任者として参画

駒 佳明

- B *The static three-quark potential of various quark configurations*, M. Koma, Y. Koma, Proceedings of Science, LAT2015 (2015) 324-(1--7)
- C 量子色力学に基づくクォークoniumの研究(poster), 駒 佳明, 第 9 回静岡県東部テクノフォーラム in 沼津高専, 沼津高専, 2015 年 12 月 3 日
- D 学術雑誌「Physical Review D」の査読委員

藤井 数馬

- B 認知言語学の視座を英語教育に応用する学習実態としてのグループ学習とその実践, 中部地区英語教育学会紀要, 45, pp. 133-140, (2016 年 1 月).
- B ボトムアップ式に認知言語学の知見を英語教育に応用するメソッドとその効果—グループ学習とエクササイズ, 日本認知言語学会論文集, 16, pp.440-446, (2016 年 5 月).
- B Exploration into the effects of the schema-based instruction: A bottom-up approach, *Journal of Pan-Pacific Association of Applied Linguistics*, 20(1), 75-94, (2016 年 7 月).
- B 授業内多読による英文読解スピードの変化について, 全国英語教育学会第 42 回埼玉研究大会発表予稿集, pp. 22-23, (2016 年 8 月).
- B 地域開放型図書館への英語多読を通じた貢献, 日本高専学会第 22 回年会講演集, pp. 57-58, (2016 年 8 月).
- B Q-U に基づいた大規模学寮を有する高専学生の特徴と相応しい学生指導の検証(石丸裕士(奈良高専), 伊勢昇(和歌山高専)と共著), 日本高専学会第 22 回年会講演集, pp. 43-44, (2016 年 8 月).
- C ボトムアップ式に認知言語学の知見を英語教育に応用するメソッドとその効果—グループ学習

- とエクササイズ, 日本認知言語学会第 16 回大会, 同志社大学(京都市), 2015 年 9 月 13 日.
- C コア理論の説明力とグループ学習を取り入れた実践可能性, 第二言語習得研究会(関東)第 91 回研究会, お茶の水女子大学(東京都文京区), 2015 年 10 月 17 日.
- C 沼津高専における英語多読指導と継続支援のためのウェブサイトの開発(村上真理, 青田広史と共同), 平成 27 年度東海工学教育協会高専部会シンポジウム, 三島市民文化会館(三島市), 2015 年 12 月 4 日.
- C 高専英語教育としての多読指導—背景・広がり・効果・課題—(招聘), 関西多読指導者セミナー, 甲南大学(西宮市), 2016 年 2 月 20 日.
- C YL と Lexile の相関調査—導入期の多読図書を中心に—, 日本多読学会年会大会, 徳山工業高等専門学校(周南市), 2016 年 7 月 31 日.
- C 授業内多読による英文読解スピードの変化について, 全国英語教育学会第 42 回埼玉研究大会, 獨協大学(草加市), 2016 年 8 月 20 日.
- C 地域開放型図書館への英語多読を通じた貢献, 日本高専学会第 22 回年会, 沼津工業高等専門学校(沼津市), 2016 年 8 月 28 日.
- C Q-U に基づいた大規模学寮を有する高専学生の特徴と相応しい学生指導の検証(石丸裕士(奈良高専), 伊勢昇(和歌山高専)と共同), 日本高専学会第 22 回年会, 沼津工業高等専門学校(沼津市), 2016 年 8 月 28 日.
- D 第 76 回「先生のチカラ」(招待有), 英語の先生応援メールマガジン, 2015 年 12 月.
- D 東京工業大学, 東京工業大学基金による研究助成及び教育研究助成, 多読授業による英語読書速度の変化とその要因に関する研究, 研究代表者, 2015 年 4 月～2016 年 3 月.
- D 日本英語検定協会, 第 29 回「英検」研究助成, 英語多読導入期に用いる多読図書における YL 指数と Lexile 指数の相関調査—両指数の教育・学習上の特性の整理とともに—, 研究代表者, 2016 年 6 月～2017 年 5 月.
- D 独立行政法人国立高等専門学校機構, 英語力向上事業(展開型), 多読を英語発話力養成に繋ぐための新規プログラムの開発—「英語でビブリオバトル」の開催と英語表現の共有化—, 研究分担者, 2015 年 9 月～2018 年 3 月.
- D 平成 27 年度静岡教弘教育研究実践論文佳作受賞「英語多読の導入とその効果—学習の到達感を味わい地域と結ぶ—」, 2015 年 12 月.
- D 日本認知言語学会第 17 回全国大会実行委員, 2015 年 10 月～2016 年 9 月.
- D 全国高等専門学校英語教育学会理事, 2015 年 9 月～.
- D 全国高等専門学校英語教育学会査読委員, 2015 年度.
- D 平成 27 年度沼津工業高等専門学校公開講座「英語多読多聴体験講座」講師, 2015 年 10 月 24 日.
- D 日本英語検定協会 2 次試験面接委員.

松澤 寛

- C Spreading speed and asymptotic profiles of solutions for nonlinear free boundary problems in high space dimension, 国際会議「The 11th AIMS conference on Dynamical Systems, Differential

- Equations and Applications, Orlando, FL, United States」(於フロリダ州オーランド, アメリカ合衆国)における講演, 2016年07月02日
- C The Fisher-KPP equation with a moving boundary and a free boundary, 国際会議「The 11th AIMS conference on Dynamical Systems, Differential Equations and Applications, Orlando, FL, United States」(於フロリダ州オーランド, アメリカ合衆国)における講演, 2016年07月01日
- C The Fisher-KPP equation with a moving boundary and a free boundary, 国際会議「9th European Conference on Elliptic and Parabolic Equations」(於 Gaeta, イタリア) における講演, 2016年05月25日
- C Spreading speed and profile for free boundary problems of nonlinear diffusion equations, 江蘇師範大学セミナー(江蘇省徐州市, 中華人民共和国)における講演, 2016年03月08日
- C ある非線形拡散方程式の自由境界問題における spreading speed の評価と解の漸近的形状について, 東北大学応用数学セミナーにおける講演, 2015年10月29日
- C ある高次元非線形拡散方程式の自由境界問題における球対称解のspreading speed の評価と解の漸近的形状について, 2015年度日本数学会秋季総合分科会(函数方程式論分科会)(於京都産業大学)における講演, 2015年09月15日
- D Journal of Mathematical Analysis and Applications 査読委員
- D Mathematische Nachrichten 査読委員
- D Advance in Differential Equations 査読委員
- D Mathematical Modelling and Analysis 査読委員
- D 江蘇師範大学(江蘇省徐州市, 中華人民共和国)訪問研究員, 2016年03月04日～3月10日